

英彦山上部に登山者用トイレ建設を要望する請願(陳情)書

英彦山の自然環境を保全するため、年間20万人以上が登山する英彦山上部に登山者用トイレが必要であるという認識から、トイレを建設して下さるよう請願(陳情)します。

<理由>

福岡、大分県境に聳える英彦山は北九州の最高峰で、かつて修験道の拠点として日本三大霊山と称され、山岳宗教のメッカとして名をはせたと言われています。そして、平成8年には英彦山宗による修験道の行事が復活され、今日に至っています。

また、英彦山の自然は変化に富み、数多くの名勝史跡有する同山域は昭和25年「耶馬・日田・英彦山国定公園」に指定されています。

英彦山には近年、中高年をはじめ小中高の生徒、職場のグループなど、年間20万人以上が登山や植物、野鳥の観察などを楽しみ、保健、教育、休養などに大きな役割を果たしております。

しかし、登山者の増加に伴い、自然環境の悪化が危惧される状況となっています。

福岡県には登山者が多い人気の山が三ヶ所あり、福智山、英彦山、宝満山がそれにあたります。福智山、宝満山においては山頂直下にバイオトイレが設置され、綺麗なトイレとして利用者に喜ばれています。しかし、英彦山上部にはトイレがなく、排泄物が山中に放置されている現状があり、この対策が急務となっています。

登山口にはトイレが設置されているところもありますが、登山コースによって歩行時間も違い、また、登山者自身の体調や個人差などから、排泄を余儀なくされる場合も少なくありません。これらにより、山麓の水質汚染という深刻な事態をも招きかねません。

英彦山について、専門的な知識を持っているわけではではありません。ただ、英彦山には遠い昔から祖先が歩いた神の山、霊山、歴史の山であるという認識はあります。だからこそ、英彦山の自然環境が汚染されることを、極力くい止めなければならないと強く考えているところです。私たちも自然保護思想の高揚に向けた活動を今後よりいっそう強化していく所存です。

どうか以上のような実情をおくみ取りの上、英彦山上部に登山者用トイレを建設して下さいますようお願いするものです。

平成24年 月 日

英彦山の環境・トイレを考える連絡協議会